

ReMo研シンポジウム2021

東西中世における修道院・寺社の書物文化 —制作・教育・世界観の変容—



中近世の宗教運動(修道制や寺社)は、修道戒律、説教などの文書テキストのほか、文学作品、彩飾写本、聖堂装飾、あるいは巡礼などの仕組みも含め、多種多様な形態のメディアを駆使し、自らの宗教理念を発信していました。学術変革領域研究(B)「中近世における宗教運動とメディア・世界認識・社会統合」(ReMo研)は、こうした諸メディアがいかに創造され、また社会に対してどのような革新的な世界認識と仕組みをもたらしたのかを比較研究しています。

2021年度のシンポジウムは、そうしたメディアのうち書物文化に注目し、その制作現場、教育への活用、世界観の変容に果たした役割を考察します。キーノートスピーチは『寺院文献資料学の新展開』シリーズを刊行中の中山一磨氏が行い、セッション1「書物の制作と世界観の変容」、セッション2「書物文化に見る共同体の歴史」、セッション3「世俗物語素材と教化」の各セッションで、歴史学、美術史学、文学の各分野から報告があります。

※報告者公募について

本シンポジウムは、若手研究者支援の一環で報告者の公募を実施します。詳細はプロジェクトHP(<https://religious-movements.com>)をご覧ください。

日時

2021年12月18日(土) 12:45~18:00
19日(日) 10:00~12:30

※時間は予定

場所

東京都立大学(東京都八王子市南大沢1-1) + オンライン

プログラム(予定)

キーノートスピーチ

中山 一磨(大阪大学)



セッション1: 書物の制作と世界観の変容

安藤 さやか(東京藝術大学)

長友 瑞絵(東京藝術大学)

セッション2: 書物文化に見る共同体の歴史

川崎 剛志(就実大学)

林賢 治(フラインブルク大学)

梶原 洋一(京都産業大学)

セッション3: 世俗物語素材と教化

山本 潤(東京大学)

シュウェマー・パトリック(武蔵大学)

参加申込

<https://forms.gle/vJ3o6kggrhq5AGeZ8>



お問合せ: <https://religious-movements.com/contact/>

